



檜葉わらじ組

高木 キヨ子さん



檜葉町から“笑顔”を届ける 快適でかわいい布ぞうり

毎週木曜日、「檜葉まなび館」の一室にほがらかな笑い声が響きます。声の主は高木キヨ子さんたち「檜葉わらじ組」のメンバー。全国から寄せられる古着のTシャツをリメイクし、布ぞうり「narahato」を製作しています。

きっかけは、高木さんたちが東日本大震災後に会津美里町で避難生活を送っていた時。古布を使ってぞうりを編むワークショップに参加したことでした。

「南会津から先生が来て、3日にわたって教えてくれたのですが、最初はなかなか覚えられなくて苦労しました。作り慣れてきたころ、復興支援団体『ならは盛り上げ隊』の方々が協力してくれるようになり、イベントや通販などで販売するようになりました」

1点1点手作りの布ぞうりは、



郡山市立日和田小学校
子どもたちが「もっと 知って ふくしま！」
(県作成の動画)を参考に作ってくれました。

郡山市立日和田小学校の4年3組（現在5年生）の皆さんが、福島の魅力伝えるオリジナルの動画を作成したとお便りがあったので、子どもたちと一緒に鑑賞会を開きました。

動画からは、福島が大好きな気持ちと、一生懸命に作ってくれたことがひしひしと伝わってきて、とても感動しました。私自身も皆さんに負けないよう、福島をもっともっとPRしていきます。

福島の魅力がたっぷり詰まった動画に感動しました。





▲「narahato」の由来は、「布ぞうりを通じて、檜葉町とのさまざまなつながりを感じてほしい」との思いから。商品タグには作り手の名前が記されている。

イベントで布ぞうりの販売やワークショップなども行っています



▲サイズはS、M、Lの3種類。すべて1点ものなので、好みの色合いを探すのも楽しみのひとつ。



【問い合わせ先】
檜葉わらし組(高木キヨ子)
0240(25)2255

「みんなが集まって手を動かしながらおしゃべりすることが一番の喜び。これからも履いた人が笑顔になれるような良いものを作り続けたいですね」

顔の輪が広がっています。「和気あいあいと作業するメンバーですが、実は震災前には面識がなかったそう。布ぞうり作りをきっかけにした出会いが、新しいコミュニティを生み、笑顔の輪が広がっています。」

「Tシャツとは思えないと言われますね。いい色や柄のTシャツが送られてくると、みんなでじゃんけんして取り合いになつたりもするんですよ」

「Tシャツとは思えないと言われますね。いい色や柄のTシャツが送られてくると、みんなでじゃんけんして取り合いになつたりもするんですよ」

外から見た福島のコロコロ教えます

ふくしま

二重マル

海釣りか趣味の溪流釣りに挑戦してみたい!

これまつあき
是松 昭夫さん
(大阪府出身)

国外や県外出身の人から見た福島を知るコーナー。
第12回は、郡山市に事務所を構えるデザイナーの是松さんです。

移住者の目線で、福島の魅力を発信中!

平日は郡山市、週末は会津で田舎暮らしを楽しんでいます。移住して感じた県内の魅力などをホームページ「だべした」で発信しています。福島は四季がはっきりしているところがいいですね。会津で初めて見た一面の雪景色には感動しました!

奥さんの実家が会津坂下町の米農家なので、農作業を手伝ったりもしています。福島は食べ物がとてもおいしいですが、自分で収穫したお米の味は格別ですね。山菜や日本酒も大好きです!



奥さんの実家で
お米収穫のお手伝い

だべした
AIZU
<https://dabeshita.net/>